

【小集落住民のふれ合いを大切に】

去る11月24日、塩谷の小集落懇談会に参加する機会を得ました。その中で出された意見を紹介します。

懇談のテーマは「住民同士がふれ合いを深め、お互いを大切にしようするために、塩谷集落住民として何をしてきたか、今後どう取り組むか」でした。

○ 集落行事として蒲生地区民運動会に備えて、前夜祭を行っている。1戸から何人参加してもよいということで、多くの人が作業場に集まる。焼き肉など食べながら、鋭気を養うのが恒例になっている。

○ クリスマスの前など、機を捉えて「塩谷ふれあい21」を行っている。事前に村役員と子どもたちが集まって、計画を立て、準備に当たる。

当日は、親子で参加する家庭、孫を連れて参加する家庭といろいろ。料理を食べたりおしゃべりしながら子どもと大人がふれ合いを深める。

○ 集落の道路脇には、六体の石地藏（六つの迷界において人々の苦しみ・悩みを救うといわれる）が安置されている。盆・彼岸等には集落の中で、誰でも気の付いた人がお花を飾る。

また、四十九日の法事を済ませた家は、使わなくなった花（蓮華）を持参して、この地藏様にお供えする習わしになっている。

○ 雪が降ると、自分の家の玄関・駐車場・道路等の除雪をするが、隣の家との間の区域に雪を残すこともある。お互いに、自分の範囲だけでなく、少しずつでも余分に除雪する気持ちを持ちたい。

また、仕事の都合等で除雪が出来なかった場合には、やってくれた人にお礼を言うなどの心遣いをしたい。言葉一つと言われる。いくら感謝していても、言葉に出して言わなければ相手には分からない。

○ クリーン作戦で道路のゴミ拾いを行うとき、道ばたの草刈りがしてあると気持ちが良いし、ゴミも拾いやすい。その時期に合わせて、お互いに来る範囲で、自分に関わりある場所の草刈りを行いたい。

○ いろいろな面で、良いと思うこと・気が付いたことは進んで行う気持ちを持ちたい。

などの意見が出され、お互いに大切にしよう村づくりにむけて、熱心に話し合いがなされました。

第15回岩美町部落解放文化祭

盛会に終わる!!



11月17日（土）、18日（日）の2日間にわたり、地域をあげて取り組んでまいりました部落解放文化祭は、大勢の参加者で賑わい盛会のうちに終了することができました。

ポニーの乗馬体験、もちつき大会など楽しい催しが沢山行われ、子ども達も大喜びでした。人権講演会では、神奈川県の大沢俊郎先生をお迎えし識字についてのご講演・国府町因幡の傘踊りと多くの方が学習されました。

また、小・中学生・高校生による作品展示や意見発表では、人権についての日頃の取り組みや成果を発表しました。

今回も、町内の方々には多数の作品を出展していただき誠にありがとうございました。チャリティーバザーでは皆さんの善意によって集められた収益金を岩美町社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。皆様のご協力によってこの文化祭を盛会に終えることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

部落解放講座を開催します

●テーマ 「部落」「差別」って何？●

自分たちが思ってきた「差別」って何なのでしょう。「部落」って何なのでしょう。

もう一度立ち止まって考えてもいい時期ではないでしょうか。

【日時】平成20年 1月12日（土）

午後 1時30分～午後 3時

【講師】岩美中学校校長 戸田 倫弘さん

【演題】「岩美中の現状と課題」

～岩美中における人権教育のあり方～

問い合わせ先

岩美町文化センター

☎72-1931